会 議 録

会議の名称	第2期美幌町自治推進委員会(第5回)
   開 催 日 時	平成26年8月25日(月)
	18時30分 開会 19時40分 閉会
開催場所	しゃきっとプラザー会議室2
出席者氏名	委員 大野委員、齋藤委員、早田委員、平田委員、村口委員 町 平井総務部長、露口まちづくり主幹
欠 席 者 氏 名	旭委員、稲垣委員、井上委員、清野委員、疋田委員
事務局職員職氏名	遠藤政策担当主査、小澤政策担当
議題	1 協働について 2 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開(一部非公開)
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	会議を公開することにより、公正かつ円滑な会議運営に著しい支障が 生ずると認められるため、一部非公開とした。
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名(報道)
会議資料の名称	<ul> <li>【資料1】</li> <li>・町民参加と協働によるまちづくりの推進について</li> <li>【資料2】</li> <li>・協働のまちづくり指針(もしくはマニュアル)の策定について</li> <li>【資料3】</li> <li>・美幌町自治基本条例逐条解説(第1条)抜粋</li> </ul>
会議録の作成方針	<ul><li>■録音テープを使用した全部記録</li><li>□録音テープを使用した要点記録</li><li>□要点記録</li></ul>
その他の必要事項	

発 言 者	審議内容 (発言内容、審議経過、結論等)
会長	開金 金長挨拶  皆さん、こんばんは。お集まりいただきまして、ありがとうございます。第5回ということで、始めていきたいと思います。 今日は、議題にもあるように協働です。皆さんから、意見やアイディア等いただければと思っております。この美幌町も若干人口も少なくなってきましたし、幾分お金も使えない状態です。そのときに何が必要かというと、やはり協働ということで、いろいろな立場の方がアイディアを持ち合い、いろいろと工夫して、皆さんでまちづくりしていくことが本当に必要不可欠だと思います。 是非、美幌町に協働を最大限の武器として、活気ある美幌町を、また誰もが安心安全に住めるようなまちになればいいなと思っていますので、皆さん慎重審議で有意義な会議をよろしくお願いいたします。それでは議題に入っていきます。
事務局(説明)	<ul> <li>議題1 協働について</li> <li>郵送でお送りしました資料の他に、机の上に7種類の指針若しくは概要版を用意しております。数多くの指針がホームページから検索できますが、私の方で見本となる資料をピックアップさせていただき、今回配布させていただきました。最終的には、こうした冊子を作成することを目標としておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。それでは、ご説明いたします。</li> <li>【資料1~3】に基づいて説明。</li> </ul>
会長 (司会)	各種資料を有効に使いまして、説明をいただきました。 資料2は差し替えということでよろしいでしょうか。
事務局	はい、申し訳ございません。
会長(司会)	差し替えでございますので、この資料2に沿って話しをしていきたいと思いますが、あまり堅苦しくなく、自分の思う範囲の中、この取組に関して話し合っていきたいので、よろしくお願いします。協働って、よく出てくる言葉ですが、わかっているようでわからない。私の場合は、いただいた資料に載っているのですが、例えば、防火協会や、安全協会等。私、消防団に入っています。消防団は特別職地方公務員になるので、一応協働ということで、活動させていただいています。先ほどのボランティアの部分で、ボランティアは協働の骨幹だと思うのですけど、何かこの辺で簡単にお話しいただければ。
委員	難しいですね。

発 言 者	審議内容 (発言内容、審議経過、結論等)
会長	難しくないですよ。ちょっと活動している中で、これが協働だろうな ということを。
委員	砂川市の資料の中、特にボランティアに関する事例というのは載って いないですね。
事務局	ありますけど、載っていないですね。
会長 (司会)	まず、美幌町で行われている協働を拾い上げていくことで、どこが不 足しているのか話し合っていきたいと思います。 また、ご意見があれば。
委員 (以下、質疑等)	先ほど、事務局がボランティアの数とか言っていましたけど、正確な数は、どのくらいありますか。
事務局	21か、22ですね、美幌町で登録しているのは。
委員	ボランティア連絡協議会に入っているのは、12団体なのだけども、 その他にいろんな活動しているのがあるからね。
事務局	確か21団体のはずです。
会長	まず自分たちのことはさておいて、活動する組織ですね。回りまわって、いつかは自分たちのところにも協働の部分で、何か助けがくるというような部分ですよね。 商工会も協働はありますよね。
委員	美幌町も相当協働という部分は出てくるかと思います。逆に、行政だけでやっているものが多く、町民だけで行っているものの方が少ないと思います。どうしても、どこかで行政に頼っています。宮田建設の社長がNPOを立ち上げています。「元気プロジェクト」と言って。そちらの方は行政のカラミもなく、中身はペットボトルのキャップを集めまして、それをお金に換えて、ワクチン協会に募金しています。この間、私も知らなかったのですが、美幌高校にボランティア活動クラブがありました。先日高校に行って、先生とお話ししましたら、「是非手伝いたい」ということで、先生1人と生徒5人に、キャップの分別と肥料袋に入れる作業を2時間ほど手伝ってもらいました。元気プロジェクトからも何名か出て、10名ほどで12,3袋できたのですけど、どうしても送料がかかるわけですから。それで、協賛金だとか、おまつりの売上の一部を送料にかえています。 美幌北中学校も40~50名ほどボランティアがいると聞きました。だから、町内のいろんなボランティアに出ているのではないかと思います。また、お手伝いいただいた高校生から美幌療育園のおまつりにも手伝いに行くと聞きました。学生ですので、町民になってしまうかと思いますけど、これも協働でやっているのだなと思いますね。

発	譠	者	審議内容 (発言内容、審議経過、結論等)
会長			今日から、協働をやりますと言っても、なかなかできないと思いますね。やはり、一番大事な骨幹は、皆ができるときに、できるだけのボランティアをする。今、ちょっとボランティアに偏りましたけど、やるということと、その前に一番大事なことは、子どもの頃から慣れ親しむ。また、突然できるものではないので、やっぱり小さいときからボランティアとか、協働という部分を植えつけていく。このあと、指針ができたときに、小さなアクションをしていって、子どもたちに重点的にわかりやすい言葉でお知らせしたいなと考えています。やっていかないと、途中でバツッと切れてしまいます。つながりも必要だと思いますので、若い層、青年層、高齢者にも協働という部分で働いていただかないと、なかなか先行きが見えないのかなと思います。
委			あまり難しいことはわからないですけど、他のまちで素晴らしい冊子ができているからね。美幌町は今、全ての方が取り組んでいることをまとめれば、役場で集めていただいた資料の全紙にまたがって、美幌町はこれ以上のものができると思う。現実やってらっしゃるのではないでしょうか。例えば、今回やられるふるさとまつりの実行委員せしてやってくれる。この間やった夏まつりにしてもそうじゃないかなと思う。実行委員会を作って、実動部隊は民間がやって、予算の枠の収益で生み出る。全てがそうじゃないかと思う。 とれて足りない分は行政が、人的にも金銭的にも応援してくれる。全てがそうじゃないかと思う。 福祉協議会にも私は関わっていますけど、まさに福祉協議会もボランティアの集まりの統括的な立場であって、金銭的な部分も行政から負担金、補助金をいただいて、人員を保つ体制を作っている弁当の宅配もある。 その中に有償で、例えば、福祉協議会がやっている弁当の宅配もある。 美幌町は、こういう冊子を作っていないから、わからないかもしれないけど、今やっていることをまとめたら、ここにある冊子の一つの自治体は恥ずかしくて出せないのではと私は思ってがと思うのですが、花の問題だって、行政が花の苗を作っているのとやっているから、全てが協働でやっているのではないかなと思う。 今はあまりないが、昔は農家だって、気象変異で援農に行くだとかね。こ近年のうちにありますから。今回、自衛隊がPKOの派遣で出て行っては悲観していない。地域の参加が少ないだとか。私たちの自治会には子どもたちも参加してきまからと会長言っていまずが、それは学校の分野や親の分野だと思いますね。うちの自治会には子どもたちも参加してきまからとっていまずが、それは学校の分野や親の分野だと思いますね。うちの自治会には子どもたちも参加してきまからと会長言っていまずが、それは学校の分野や親の分野だと思いますね。そういう立才体操をやっているのですがだ、小学校の校長、教頭が自治会の会員なのですが、案内しても残念なことに1回申来ないですね。そういう立才体操をやっているのの生徒がどうしているのかなと様子を見にきてくれればと思う。

発 言 者	審議内容 (発言内容、審議経過、結論等)
委員(前項に引き続き)	そして、広げていってくれれば、まだまだ大きくなるのではないかと 思います。
会長	そうですね。今出てきた一つの課題として、子どもに関しましては、 家族や親、周りの人たちが、どうサポートして、子どもたちにいろいろ な経験や活動をさせて、楽しませるか。人に役立つような部分を植えつ けるというところですかね。
委員	だから、子どもについて、うちの自治会は夏に子どもを連れ参加者募ってバス遠足ということで、今年は釧路動物園に行ったのですけど、そこで何十人もいますから、班分けをするのですよね。子どもたちが班分けをして、親が付いて歩くのですよ。そうすることによって、ちゃんと子どもたちがリーダーシップを発揮して、やってくれますから。 私は、美幌町は良いと思っていますけどもね。
会長	今言われたように、美幌町は規模、人口密度的にもちょうど良い、何と言いますか。あまり大きな都市になってしまうと、これは割愛してできませんとかあるのですけど、美幌町は、まだやる気ある人がいるし、人口的にも、子どもたちにとっても、福祉にとっても、いろいろと手が届いていていいなと思うのですけど、今後、段々人が少なくなっていって、限られた予算の中でやっていく中では、今までよりも、ひとランク上の協働をしていかないと駄目なのかなと思う。ただ今は、良い意味で回っているのかなと思います。
委員	本当にボランティアが盛んな地域だなと思います。 ボランティア団体に所属している方が高齢になってきていますから、 やはり若い方を育てていくことも考えていかなくてはならない。これが 一つの課題かなと思います。また、同じ方が複数の団体を掛け持ちして いるので、負担も大きいと感じます。なるべく多くの方が参加できるよ うに、団体が行政の力を借り周知して、新たに協力してくれる人を募っ ていくことも必要だと思います。
会長	そうですね。団体の高齢化も進んできているし、もう一つは、いろんな人がいろんな活動をして、若干負担がかかっている。それをどう是正するかという部分で、やはり、この協働の指針を広く地域住民の方に、知らしめて、そこから、今まであまり協働に参画していなかった方が、少しずつ関わってきてくれれば、いいのかなと思います。そのためにも皆さんから意見を出していただいて、この協働の指針、またわかりやすいマニュアルの作成をしていきたいと、ふと思いました。
委員	個々で何かやりたいと思っても、それは無理だと思います。だから、 それを吸い上げて、どうにか協働の方に持っていくのが、まず一つ。ど うやって、吸い上げるかは別にして、協働を広げるには皆でやりましょ うというのが一番ですけど、こういうふうにやりたいというのを、どこ かで吸い上げて、一つの団体でできなかったら、他の団体と一緒に協働 でやってもらって、それにプラスして行政も入ったら、いろんないい案 が出ると思う。

お発言者	審議内容 (発言内容、審議経過、結論等)
委員(前項に引き続き)	どうしても一つの団体でやると、規模的にも限られますし、予算等いるんな面でわからないと、結局案はいいのだけども、途中で無理だと、なってしまうので、そうであれば、吸い上げて、ちょっと団体と話してみませんかと、例えば、行政が紹介してあげて、行政はあくまでも事務局でいいですから、それで話し合ってもらって、こういう案もありますよというのも一つの手だと思います。 なかには、行政でやっていくのでしょ。という方もいるかもしれません。そういう方こそ、良い案を持っている方だと思うのですよ。それを吸い上げて、一緒にやりましょうと、行政におんぶに抱っこではなく、一緒にやればいいかと思います。
会長	ありがとうございます。 やっぱり、ポイントというのは、地域住民の方々が、「行政でやってくれるから、待つわ」という時代では、今後ないと思います。何かを得るのであれば、少なからず一人ひとり地域住民の方もできることは自分で。一人でできなければ、いろんな仲間を募ってやっていくような部分までいけばいいのかなと思います。 課題としては、皆さんからいろいろと出していただきました。また、先輩から、美幌町はまだ良い方だよと温かく、また力強いお言葉をいただきました。何かこの中で全体を通してあれば。今日は人数が人数ですので、もう少しいれば、意見ももっと多くいただけたのかと思いますけども。
委員	他の市の冊子を見てみました。中身まで見ていないのですけど、正直 絵を使ってだとか、私的にはすごく見やすい。やっぱり、色を使う部分 が、面倒かもしれませんが、読んでくれる、目に映えるのではないでし ょうか。大体の自治体には入っていますね。
事務局	そうですね。大体同じような感じであるのですけども。美幌町バージョンということで、考えています。
委員	駄目だとは私は思いませんので、良いところをピックアップするのも 必要だと思います。
会長	なるべく、文字が多いよりは、イラストが多い方がいいですね。 協働って、個人、市民活動団体、住民自治組織、各種団体、企業、行 政、どこの団体も力が弱かったら、協働の輪がきれいにできないと思い ます。行政ばかり大きくても駄目だし、また自治活動だけが大きくても 駄目だし、できれば、皆さんの力が平等であれば、きれいな輪ができる。 まんべんなく、いろんな障害等に対応できるかと思います。
委員	理想はそうだけど、最初からきれいな輪を作ろうとしても、意識の差があるから。デコボコに作って、いかにコロコロ回っていくような体制にしていかなくては。最初から無理やりきれいな輪にしようとしたら、上手くいかないと思う。はみ出たりしているものがあって、最後は美幌町の最高責任者である町長のリーダーシップをとり、自治会にいけば、自治会長なり、そういう人たちのリーダーシップで、デコボコを丸くしていければいいと思う。

発 言 者	審議内容 (発言内容、審議経過、結論等)
委員(前項に引き続き)	現実、意識を一つにしようとすることは不可能に近いこと。やっぱり、見える部分がね、話しが全然違うのですけど、自治会連合会と、役場の高齢者福祉とで75歳以上の高齢者の方に、『家族安心カード』を作って、全自治会3,500名くらいの高齢の方に回そうということで、説明会をやって、配ろうとしたけど、来られない自治会が67自治会のうち20自治会あったのです。そこで、私は次の日、全部歩いて配りに行ったのですね。美幌町って、こんなところにもあるのっていうくらい、ありますよね。だから、私たちも街の中しか見ていないけど、栄森、登栄、駒生だとか、そういうところがいっぱいあるから、そういうところを知るだけで立場が変わってくるし、いろんな人がいますから、絶対一つにまとめるというのは難しい。 行政の諸問題にしたって、今回も町長の公約で、新たなパークゴルフ場をつくるって、内部検討委員会で、議会通ったのか知りませんけども。今の施設の並びにつくるって、基本計画に入っているのかわかりませんけど、新聞発表になって、余談ですけど、パークゴルフ協会にまちから相談あったのと聞いたら、「まだ、何もないよ」って、実質運営等しているひとたちに意向を聴かないで、まちがパークゴルフ場をつくりましたから、やってくださいと言ったって、やる方のニーズに合っていなかったら、何もならないのではないかなと思う。そういうところから、町民の意見も交えて、調整していってもらえれば。協働という観点からそういうことも必要じゃないかなと私は思います。まだまだ、いろんなやり方があるかと思う。
会長	今言われたのは、この自治推進委員会でやっている情報の共有化が不 足しているということですよね。
委員	そうですね。余談ですけど、今回の防災グッズ3,000世帯くらいかな、配るのは。そのハガキを持って行ったって、ハガキの書き方がまずかったという反省もあるのだけど、それすら、1週間もしないうちに無くしたとか、それはやっぱり何かというと、広島県で発生した土砂災害等大きな災害が美幌町ではないから。言葉は悪いけど、安全・安心ボケしている。防災グッズはこれから配りますから、広島県の災害が発生してからということで、興味持っている方は多いと思います。
会長	言えることは、情報の共有化をして、いろんな問題提議があったときには、協働につながっていくのかなと思いますね。 先ほど、私が言ったことはすぐには無理かもしれませんが、少しずつ情報共有や情報発信したり等、また、冊子等で周知して、若干でも危機感をもっていただいたりすることが必要だと思います。
総務部長	先ほどのパークゴルフ場の話しですけど、説明しておきます。 パークゴルフ場の整備については、場所が決まっただけで、つくる中 身は、協会もそうなのですが、協会はサークルの意見を大事にしてくれ ということなので、その意見を吸い上げて、それをもとに皆さんが求め ているもの、これから基本計画を始めるのですけども、その中で利用者 の声を聴いて、どれが一番望ましいのかを決めていく段取りでいますの で、当然、意見はたくさん聴いていきます。行政で勝手につくりません。

発 言 者	審議内容 (発言内容、審議経過、結論等)
委員	この間、偶々、パークゴルフをしたのですけど、こんな立派なコース があるのだったら、別に改めてつくらなくてもいいのではと、そういう 意見も多少はあるのではないかと思う。
総務部長	いろんな意見あります。いろんな意見がある中で、相対的な部分で、 河川敷は何年かに一度は水に浸かることもありますので、浸かりにくい ところにつくろうかという発想なので。
会長	あそこは交通の便が悪いですよね。
総務部長	交通事故防止も大事なことです。既存の交通アクセスをやめて、安全 な交通アクセスも考えなくてはならない。
会長	事務局、もう少し進めますか。それとも、また。
事務局	そうですね、今回だけでは決まりませんので。協働の内容だけわかっていただければと。
会長 (司会)	今後も幾度か、皆さんに協議していただくことですし、私たちの意識 改革から、課題が浮き彫りになればいいかと思います。 最後にこれだけは言いたいということがございましたら。 なければ、次に移りたいと思います。
	【非公開事項のため、省略】
会長 (司会)	どうもありがとうございました。 全体を通して、ご質問、要望等ございますか。
委員	今回の会議なんかでも、5名しか来ていませんよね。できれば、半分ではなく、7割以上の方が出席できる日に設定した方がいいのでは。
事務局	設定しました。急遽、バタバタと欠席の連絡をいただきました。必ず、 多く集まれる日に設定しています。
会長(司会)	今日が予定では、皆さんが一番多く集まれる日だったのですけど、個々の予定に急用が入ったりして、当初8名ないし9名の出席だったのですけど、前にも条例で、5名以内で会議は成立するということで、本日開催させていただきました。皆さん、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございました。貴重なご意見感謝申し上げます。それでは第5回第2期自治推進委員会を終了させていただきます。今日は本当にありがとうございました。
一同	ありがとうございました。